

共同国際シンポジウム
中国の政治改革と少数民族の権利
—いわゆる“第二次民族政策”をめぐる—

日時：2012年12月8日（土） 9：30～18：00

主催：滋賀県立大学国際コミュニケーション学科

ケンブリッジ大学モンゴル内陸アジア研究センター（MIASU, Cambridge）

場所：滋賀県立大学本部棟（A0）3階教授会室

学長挨拶：太田啓一（滋賀県立大学）

9：30～9：40

学科長挨拶：石田法雄（滋賀県立大学）

9：40～9：45

基調講演

郝時遠（中国社会科学院）

9：45～10：30

中国の民族区域自治制度を如何に堅持し充実させるべきか

—“第二次民族政策”論をめぐる—

休憩 10：30～10：45

第一部

ナスンバヤル（内モンゴル大学）

10：45～11：25

優遇か権利か—少数民族が主体という視野から民族政策を考える

王柯（神戸大学）

11：25～12：05

「伝統」はどこまで遡られるものか—桂林白氏における「回族」の再建から民族政策を考える

ボルジギン・ブレンサイン（滋賀県立大学）

12：05～12：45

「民族区域自治」の空間—ある自治県の民族政策に対する理解と実践

休憩 12：45～13：30

第二部

張海洋（中央民族大学）

13：30～14：10

中国百年間における社会スタイルの変遷と民族区域自治

—建国時の「共同綱領」と請負制度からみる「第二代民族政策」—

マーク エリオット（ハーバード大学）

14：10～14：50

グローバル的視点から中国の民族政策を考える

ウラディン E・ボラク（ケンブリッジ大学）

14：50～15：30

民族区域自治制度及びその「安全化」—中国の政治制度におけるある種の「相互剥奪性」について

休憩 15:30 ~ 16:00

第三部 パネル デスカッション

16:00~18:00

司会：ウラディン E・ボラク（ケンブリッジ大学）

コメンテータ：加々美光行（愛知大学）村田雄二郎（東京大学）ユ ヒョチョン（和光大学）

懇親会：滋賀県立大学看護学部食堂

18:20~20:20

（懇親会費：社会人：3000円、学生1000円）